

第13期
事業報告書

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月 31日



／ みつけた！私にできること。 ／

一般社団法人
盲導犬総合支援センター

第13期事業（2021/4/1～2022/3/31）について

新型コロナウイルスが世界的な広がりを見せてから早2年が経過し、移動や活動の制限など、生活にも経済的にも難しい状況が続きましたが、そのような中でも、世界各国、各地域では、ワクチン接種の浸透や政策により、経済活動が再開し、世界経済は緩やかな回復に向かい始めました。

夏には、コロナ禍を理由とした史上初の1年延期を経て、第32回夏季五輪東京大会が、7月23日に開幕。2度目となる国内での夏季五輪に、日本選手は過去最多の583人が参加。夏冬を通じて日本最多となるメダルを獲得したことは、私たちにとって、非常に明るいニュースとなりました。

しかしながら、昨年末新たな変異ウイルスが発生したことで、再び制限の強化が行われるなど、収束の見通しさえも立たない波の繰り返しの中で、この状況における社内環境の変化、お客様や企業への対応、新しい行動様式をしっかりと受け入れ、その中で柔軟に「私にできること」を見いだし、どのように社会に向けて実践していくかが重要だと考えています。

周囲のサポートが不可欠な盲導犬ユーザーや視覚に障がいのある方々へのサポート「コロナ禍におけるお手伝いの方法」をわかりやすく説明した「声かけパンフ」を、より伝わりやすい形で1月にリニューアル。2017年から今まで継続した配布活動あつてこそその着目点をまとめ、「みんながもっとハッピーになれるお手伝いの声掛け」をキャッチフレーズに、100万部の配布数を目指し、継続的な普及活動を行っています。

盲導犬ユーザーや飼育ボランティア向けにサービスを行う分野では、昨年秋から排泄用ビニール袋の不具合が多発。利用対象者全員への無償交換をはじめ、原因の究明やメーカー側との折衝、商品自体の改善が見込めないという結論から、新たな代替品とした独自開発製品への無償交換、またその後の利用推奨案内、サンプルプレゼントなど、不安の無い飼育環境を提供できるよう継続した対応を行っています。またコロナ禍での物流問題による慢性的なドッグフードの欠品など、1年を通じて徹底した在庫の確保を行い、より安全に安心した暮らしのサポートに努めて参りました。

コロナもさることながら、色々な価値観が大きく変わる過渡期3年と捉えた2年目でありましたが、様々な社会課題にチャリティーグッズを通じて、お客様と一緒に考えていこうという想いはより強固に、いよいよ新しいステージに向けた変化を遂げていると感じています。私たちが描く「みつけた！私にできること。」を、どのように提案し発信できるか、そして形にしたサポート事業をより深く理解いただき、継続した取組を一層磨き上げていくこと。掲げるミッションに従事する誇りと責任感を持って、引続き皆さまと一緒に取り組んで参ります。

今後とも変わらぬご愛顧賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。
それぞれの事業の詳細は、以下の通りとなります。

1. 店舗事業

(1) 神奈川、仙台、富士宮（計3店舗）で商品販売を行った。

(i) 全国の盲導犬ユーザー、飼育ボランティアへの飼育用品販売

(ii) 日本盲導犬協会へ犬具及ドッグフード販売

(iii) 共同訓練中ユーザーへの推薦される犬具紹介と販売

(iv) 施設見学者、来訪者に対してのチャリティーグッズ販売

(v) 施設外イベントでの一般チャリティーグッズ販売

A) 日本盲導犬協会主催イベント

・コミックシティ東京5回

B) その他社内販売、地域団体、取引先イベント

・委託販売2回

ライオンズクラブ国際協会所属地域団体、コープ福島いずみ店

(vi) 新型コロナウイルス感染拡大防止による期間中の休店及び閉店

・富士宮店 休店：2021年8月20日～2021年10月1日

(2) その他販売活動を行った。

(i) 視覚障がい者へのリハビリテーショングッズ販売（仙台）

(ii) 富士ハーネス併設ドッグランの使用料販売（富士宮）

(iii) 全国の盲導犬育成団体への犬具販売

・東日本、日本ライトハウス、関西、中部、北海道、いばらき

(iv) 日本介助犬協会へのドッグフード販売

(3) 日本盲導犬協会主催イベント補助

日本盲導犬協会が主催するイベントの運営協力、及び商品の協賛2回

・オンラインボランティア懇親会（神奈川）

・ビンゴ大会の参加チケットのネット販売、景品の協賛

(4) 支援、協力業務

日本盲導犬協会からの委託業務及び支援活動を行った。

(i) 募金箱発送業務（仙台）

・発送依頼を専用サイトで受注、発送完了報告までの管理518件

・返送された募金箱の処理、返送報告

・募金箱に関するすべての在庫資産を棚卸管理

・その他特殊発送対応

(ii) ハーネス胴輪、ハンドルに関する販売他、管理業務

・胴輪、バーハンドルのメーカー企業との調整、使用後の修理サービス

・協会使用本数の管理及び在庫資産の棚卸管理と報告

・胴輪原料となる革の価格が高騰する中、別革での胴輪作成を提案

・新素材で作成したハーネス胴輪販売開始

(2) オリジナルグッズの受注製作

支援企業、法人へ向けて、より独自性を持たせた盲導犬普及活動として、コラボデザインにより付加価値をつけた営業販促品、ユニフォーム、カレンダーなどを立案。企業の社会貢献活動への提案を行った。

全国の企業、法人より盲導犬とコラボデザインのオリジナル商品を受注し、デザインの制作、商品の手配、製作を行った。

エムエム建材、てくてく保育園、平和会ペットメモリアル、ナンセイ SHIPPING、
ペットベスト、オンデーズ、シンキ、オールフォーエスピー、アクセス、
他全 32 社

(3) 盲導犬チャリティーボックスの普及活動

チャリティーグッズの販売代理店を広め、グッズ販売を通じた盲導犬普及活動に寄与した。新規 17 店舗を含む全 199 店舗

また、ジョイフル本田 16 店舗のペット用品売り場において、盲導犬チャリティーグッズの販売コーナーを新設した。

(4) 「盲導犬サポート SHOP」カタログの スポンサー獲得

年 4 回定期発行、「盲導犬サポート SHOP」カタログの広告スポンサーを獲得した。カタログ及びパンフ媒体による企業 PR の場を提供し、スポンサー企業商品の販路拡大を図った。

ビクセン、丸眞、平和会ペットメモリアル、アスク、三信商会、ネスレ日本、
国泰ジャパン、ハイメン、フォレストモモ、全 24 社

(5) 盲導犬応援プロジェクトの スポンサー獲得

盲導犬応援プロジェクトの「声かけパンフ」を広めるため、企業スポンサーを募り、企業、法人を通じてのパンフの普及に寄与した。また、店舗、病院、盲導犬ユーザー、ボランティアを通じて、設置配布、郵送書類への同梱先を開拓し「声かけパンフ」の広域な配布活動を行った。

スポンサー：泉屋東京店、小泉、ジョイフル本田、サンギ、桜井ホンダ、
ユーレックス、土田会計事務所、三信商会、他全 45 社

設置配布：全東急ストア労働組合、中央動物専門学校、新潟ハーネスの会、
成田福祉専門学校、和おんの湯、大相模動物クリニック、
日立ジョンソンコントロールズ空調労働組合、明電舎労働組合、
他全 31 カ所

(6) ライセンス契約商品を通じた盲導犬普及活動

ライセンス契約による盲導犬コラボ商品企画提案とその開発により、相手先販路での商品流通を通じた盲導犬普及活動に寄与するとともに、商品企画実現へ貢献した。

サンギ、ハーモニック、国泰ジャパン、ベリー、we、日本ランズエンド
三信商会、泉屋東京店、TRYL、他新規丸眞を含む全 30 社

(7) 支援、協力業務

(i) 日本盲導犬協会

- ・職員用ユニフォーム製作
- ・大型募金箱用ラブラドル置物手配
- ・盲導犬 PR コート製作
- ・募金箱設置希望店紹介（ビューティー&ハーモニー）

(ii) いばらき盲導犬協会

- ・訓練犬用 PR コート製作

(8) 企画・運営

(i) 主催イベント

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、当年度は行っていない。

(ii) 年賀状、カレンダー

協力企業運営のもと、年賀状カレンダーを通じた盲導犬の普及活動を行った。

- | | | |
|----------------------|------|----------|
| ・2022 年盲導犬チャリティー年賀状 | 発行枚数 | 73,960 枚 |
| ・2022 年補助犬応援団カレンダー | 発行部数 | 3,000 部 |
| ・2022 年うちの子チャリティー年賀状 | 発行枚数 | 2,530 枚 |

(iii) 催事出店

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、当年度は行っていない。

(iv) 募金活動

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、当年度は行っていない。

3. 通販事業

(1) WEB 通信販売

- ・「盲導犬サポート SHOP」 <https://www.gomoudouken.net>

会員数：44,538 人（昨期比 2,371 名増）

チャリティーグッズの販売、盲導犬・被災犬応援プロジェクトを展開した。

- ・「盲導犬生活サポート SHOP」 <https://www.gogomoudouken.net>

会員数：2,938 人（昨期比 176 名増）

全国の盲導犬ユーザー、飼育ボランティア情報の管理・飼育用品及びドッグフードの販売を行った。また、盲導犬ユーザーへ向け、犬用品の情報収集・提供を行った。

季刊カタログの発行・盲導犬チャリティー年賀状

15 年続く人気企画。毎年前年の評判を元にデザインや周知方法を改善し、今年は 6 万部を超えるヒットとなった。

(2)

- (i) 4 月：盲導犬サポート SHOP Vol.61 20p

- ・T シャツ祭り！企画

昨年に引き続き、大好評のTシャツ特集を掲載。チャリティーグッズの定番であるTシャツを、男女・年齢問わず選ばれる豊かなバリエーションで紹介。

- ・盲導犬ユーザーのうれしかったエピソードを紹介

盲導犬ユーザーが実際に街で経験した、うれしかった声掛けや心遣いを紹介。

「トイレで手を洗う際、レバーの位置を教えてもらった」

「薬局で、触って区別がつくよう袋にシールを貼ってくれた」

「エレベーターで、降りる階を聞かれ、代わりにボタンを押してくれた」

「レジで、おつりを金種別に説明しながら渡してくれた」

実際にあったエピソードを紹介することで、お手伝いの声掛けのイメージをより具体的に伝えた。

(ii) 7月：盲導犬サポート SHOP Vol. 62 20p

- ・盲導犬応援プロジェクト支援に多彩なコースを設定した企画

盲導犬ユーザーと盲導犬が、もっと安心安全にそして楽しく歩ける社会を目指す

「盲導犬応援プロジェクト」に参加してもらうため、限定商品を展開。商品のデザインも「声掛け」に関連したものを用意することで、商品を通じて盲導犬ユーザーへの声掛けを広めることに貢献した。和小物ブランド「かまわぬ」とのコラボでぬぐい&そばちょこは、かまわぬ公式アカウントのインスタライブでも紹介され、かまわぬファンへ盲導犬応援の輪が広まるきっかけとなった。

(iii) 10月：盲導犬サポート SHOP Vol. 63 20p

- ・泉屋東京店コラボ「盲導犬応援泉屋クッキー缶」新柄及び個包装タイプ登場

「手から手へ 心から心へ」をテーマに、生まれて成長し、引退してからも多くの方の温かい手から手へつながれていく盲導犬が描かれた新デザインが登場。

犬と暮らす方をメインに共感を呼び、今年もお年賀を中心とした年末年始のギフトに選ばれた。

- ・盲導犬チャリティー年賀状

15年以上続く人気企画。毎年前年の評判を元にデザインや周知方法を改善し、今年も昨年より6千部増となる販売結果となった。

- ・盲導犬ユーザーのうれしかったエピソードを紹介

春号 (vol. 61) に続き、盲導犬ユーザーが実際に街で経験した、うれしかった声掛けや心遣いを紹介。

「工事現場の周辺で、安全誘導係の方が進む方向を教えてくれた」

「信号待ちで、青に変わったことを教えてくれた」

「道の境目が分かりにくい冬の雪道で、歩道の場所を教えてくれた」

「『いつも頑張っているね』と声を掛けられ、見守りを感じ心強く思った」

カタログを手にとった方からは、「どんな時にお手伝いがあるとうれしいのか、とても分かりやすい」との声が届いた。

(iv) 1月：盲導犬サポートSHOP Vol.64 20p

・盲導犬サポートSHOPファンクラブ第六期募集

前年700名程の申込みとなったファンクラブを継続して募集。2種類から選べるピンバッジ、犬と人のTシャツをお揃いにするなど、入会時の特典に楽しみを加えることで、今年も多くの方からの申し込みがあった。

・盲導犬ユーザーのお悩み解消を起点とした商品を紹介

「特許技術を使ったオーロラに反射する生地を使って盲導犬を応援したい」と取引先より提案を受け、商品開発がスタート。夜道を歩く際、安全のためライトや反射材を身に付けて歩く盲導犬ユーザーが多いため、夜間の外出の不安を少しでも減らす商品として、犬用マントと人用サコッシュを販売した。

(3) 応援プロジェクト

(i) 盲導犬応援プロジェクト

盲導犬ユーザーと盲導犬が、より安心安全に歩ける社会を目指す。

・「声かけパンフ」総配布数：782,642部（前期末配布数：633,918部 148,724部増）

盲導犬ユーザーへのお手伝いの方法が分かるA6サイズの冊子を、広く配布し声かけを広める。お手伝いの声かけを更に広めていくため、12月に内容を大幅リニューアル。「盲導犬と一緒にだから声掛けは必要ないと思っていた」という誤解を解消するため、なぜ盲導犬ユーザーが困ることがあるのか説明を追加、盲導犬ユーザー自身が体験した、うれしかった声かけエピソードを掲載するなど、より疑問を解決し、行動につなげることを目指した内容になった。

■主な協力・配布企業、団体等（順不同・法人格略）

・声かけパンフ

ナチハマ、ジェイノベーション、みなみ企画、小川工務店、泉屋東京店、吉徳、日新印刷、we、サンギ、東洋化学商会、花の店山ぼうし、ハイメン、トライム、うちの子事務局、荻谷動物病院グループ、ヌーヴェル・ヴァーグ、ジャイブスイートルーム、グローバルオートグループ、OFFICE ELLA、peekaboo山梨てくてく保育園、ビタミン・ハウス、フジスター、フルハウス、香蘭社、キャブ、盛岡ペットワールド専門学校、伊豆ドッグペンション ことぶきベース、大丸屋、アニー動物病院、オカダジーエージェイ、服部年金企画、桜井ホンダ、小泉、フォレストヒルズ、J.P.モルガン、ゆみ動物病院、エース企画、MIT、スリーケー、アサヒビルド、イノウエ、Honda cars 香取西 佐原店、相模鉄道、杉山動物病院、東京亀有ライオンズクラブ、アブラヤ、高松南ライオンズクラブ、エイアイ企画、アクセス、静岡県獣医師会、ドッグガーデン ペスカ、天間建設、オンデーズ、ビクセン、東京虎ノ門ライオンズクラブ、共立メンテナンス、ピーアンドディーヒロサワ、しろくま歯科◇矯正歯科、紙工芸やまだ、共進建設、土田会計事務所、エムフレック、エレテックコーポレーション、ヤマト電機、秦野丹沢ライオンズクラブ、水上自動車興業、水上歯科医院、喫茶とりの巣、君津ライオンズクラブ、ハーネスクラブ、ロータリー、山下商事、奥本いろは堂、いなげやグループ、オブラブ、日本女子大学人間社会学部、フォレストモモ、

島根県獣医師会、ビューティ・ハーモニー、スタイル、ベストエバージャパン、東京スバルライオンズクラブ、オールフォーエスピー、三信商会、日本物産、ジョイフル本田、アドバンス、ユーレックス、丸眞、チーム・ユーチャリス、荻窪法人会、栄商会、君津ライオンズクラブ、日立システムズ、国泰ジャパン、珍珠ライオンズクラブ、サニクリーン

・エルくん熊手ステッカー

盲導犬ユーザーが気持ちよく過ごせたお店に、ユーザー自身が配布するステッカー。1,136枚がユーザーの手で全国の様々なお店へ配布された。

(ii) 被災犬応援プロジェクト

福島県の被災犬保護シェルター「SORA アニマルシェルター」と連携を取り、必要な支援を行った。

- ・シェルター全頭分のノミ・ダニ・フィラリア駆除薬：累計 798 個
- ・ドッグフード 525 kg、ひんやりスヌード 5 枚、ひんやりマット 8 枚、ニオワンニャー（消臭剤）130 本

(iii) 優しい未来を届けよう！BIGエルくんプロジェクト

子供達にエルくんのぬいぐるみを届け、小さい頃から盲導犬に親しんでもらうことで、盲導犬ユーザーと盲導犬に優しい社会を目指す。

- ・保育園、小児科病棟でのイベント、英語塾：5 か所 18 個

(4) 広報活動

(i) 電子メディアの運営

A) WEB ページ

- ・公式サイト <https://goguidedogs.jp>
会社概要、採用情報、各プロジェクトや犬と暮らす方へ向けたコラムを掲載

・通販サイト

チャリティーグッズの販売 <https://www.gomoudouken.net>

ドッグフード・飼育用品の販売 <https://www.gogomoudouken.net>

B) メールマガジン 18,750 名（前期末登録者数：17,495 名 1,255 名増）

オススメ商品及び犬と暮らす方へ向けた情報、プロジェクト報告の定期配信

C) SNS

- ・Twitter：盲導犬総合支援センター 7,636 フォロワー
<https://twitter.com/goguidedogs>

- ・Twitter：もうどう犬エルくん 9,381 フォロワー
<https://twitter.com/moudoukenLkun>

- ・Instagram：盲導犬サポート SHOP 8,300 フォロワー
https://instagram.com/goguidedogs_design

- ・Facebook：盲導犬応援団 Go!Guide Dogs 10,391 いいね！
<https://facebook.com/GoGuideDogs>

D) SNSでの発信強化

- WEB 限定販売商品「心つながマグカップ」
昨年好評だったマグカップの新色を販売。デザインに込めたストーリーを YouTube 動画で配信、予約のみの 2 週間限定販売を実施。300 個以上の予約となった。
- コラボインスタライブ配信
てぬぐいをはじめとした和小物と扱う「かまわぬ」公式 Instagram アカウントにて、コラボデザイン記念ライブ配信を行った。盲導犬ユーザーが登場し、てぬぐいのデザインに絡めて盲導犬ユーザーへの声の掛け方について紹介。アーカイブの再生回数は 3900 回を超え、かまわぬファンを中心に盲導犬への関心を高めるきっかけとなった。
- WEB 限定「もうどう犬 エルくん クリスマスオーナメント」のプレゼント
企画を SNS にて配信。昨年を大きく超え、300 個以上がプレゼントされる盛況となった。

(ii) メディア掲載

期間	媒体	内容
2021. 5. 8 5. 15	明日へのエール (TBS ラジオ)	盲導犬総合支援センター活動紹介 盲導犬ユーザーへの声掛けについて
2021. 6. 8	読売新聞家庭版	盲導犬応援泉屋クッキー缶
2021. 6. 16	Buzz Feed News	盲導犬応援トイレットペーパー
2021. 6. 30	あんふあん web	盲導犬応援泉屋クッキー缶
2021. 7. 1	KUFURA	同上
2021. 7. 2	Japaaan	手ぬぐい&そばちょこ【かまわぬ】
2021. 7. 30	茨城新聞	ジョイフル本田にてチャリティーグッズ販売開始
2021. 9. 15	REANIMAL	泉屋クッキー缶歴代デザインのミニマグネットプレゼントキャンペーン
2021. 10. 9	REANIMAL	盲導犬応援泉屋クッキー缶の新柄発売
	グノシー	同上
2021. 11. 9	REANIMAL	新生活様式での声かけ方法
	グノシー	同上
2021. 12. 10	Smartnews	ルピシア紅茶【幸せを呼ぶハニーレモン】
	えん食べ	同上
2022. 1. 18	REANIMAL	声かけパンフレットリニューアル
	グノシー	同上

当年度メディアへの情報発信の強化に努め、多種多様な情報が多くのメディアで紹介され、新しい方の目に留まるきっかけとなった。

5 月 TBS ラジオ「明日へのエール」では、2 週に渡りスタッフが出演。放送後、電話での共感の声が届くなど、活動周知の結果を伴った。

II. 管理・運営・寄付・他会計

1. 理事・顧問・監事・従業員状況（令和4年3月31日時点）

理事…4名、監事…1名、社員…6名、パート…17名

2. 理事会及び社員総会の開催状況

(i) 理事会及びOperation MTG

開催日：毎月第4週1回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止：7月、8月、11月、2月

議事：月次決算報告、日常業務の執行及び重要業務の協議決定

(ii) ステアリング committee

開催日：毎月第4週1回

議事：体制、課題と成長戦略

(iii) 社員総会

開催日：令和3年5月27日

第1号議事：事業報告及び決算の承認及び監査報告

1 貸借対照表

2 損益計算書（正味財産増減計算書）

3 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属書類

第2号議事：理事辞任及び選任に関する件

選任理事 下村 秀博

第3号議事：理事及び監事改選に関する件

3. 寄付金

日本盲導犬協会：1,000,000円（累計額：14,477,737円）

日本赤十字社：20,000円

4. 他会計（非営利事業）

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う催し自粛により、「声かけパンプ」増刷での支出のみとなった。

■ 収入：81,414円

A) 個人寄付：4件 19,400円

B) 法人寄付：2件 62,014円

C) その他：0件 0円

■ 支出：16,795円

A) 活動費：16,740円

B) 管理費：55円

C) その他：0円

■ 収支計：64,619円

詳細に関しては、附属明細書に収支表を記載する。

Ⅲ. 附属明細書

1. 他会計収支計算書（非営利事業）

前年度繰越金額： 301,476 円

収入の部

科目	区分	適応	金額
寄付	個人 (個人名省略)	6月26日	5,360
		1月28日	10,000
		2月3日	3,000
		2月27日	1,040
	法人	モンベル（株ベルカディア）	44,230
聖心女学院		17,784	
その他	入金		0
	振替	一般会計からの借入金	0
当期収入合計			81,414

支出の部

科目	区分	適応	金額
管理費	事務費	振込手数料等	55
	旅費交通費		0
	会議費		0
活動費	特定フード		0
	プロジェクト	声かけパンフ増刷	16,740
	盲導犬ユーザー		0
その他	返金		0
	振替	一般会計への返済金	0
当期支出合計			16,795

次年度繰越金額： 366,095 円